



No. ㉔

イヌマキの生育状況



No. ㉕

イヌマキ試験地の  
区域の表示



No. ㉖

イヌマキの雑樹の  
発生状況



# 技術開発実施報告・計画

課 題	7 イヌマキ人工更新法				開発期間	昭和 61 年度 ~ 平成 18 年度		
開発箇所	万助山国有林 67い1 林小班	担当部署	森林整備課	共同研究 機 関	技術開発 目 標	(3)	特定区域 内 外	●
開発目的 (数値目標)	皆伐天然下種更新地において、イヌマキを植栽し天然有用広葉樹導入と組み合わせ、用材林としての育成方法を確立する。							
年度別実施報告	15 年度 実施報告				16 年度 実施計画書			
	実施内容				普及指導		イヌマキ生長量調査	
試験地設定 (昭和 61 年度 3 月) 場所 万助山国有林 67い1 林小班 面積 0.10 ha 本数 200 本  調査事項 活着調査(昭和 62 年度) 成長量調査(昭和 61 年度、平成 6 年度~14 年 度) 林分構成状況調査(平成 6 年度~平成 11 年度) 有用広葉樹生長量調査(平成 6 年度~平成 11 年度)  保育作業 坪刈実施(昭和 62~平成 5 年度) ぼう芽整理(昭和 62 年度)  有用広葉樹本数整理 除伐(平成 9 年度、平成 14 年度)		イヌマキ生長量調査		イヌマキの生長調査では、平均すると根元径が 10cm、樹高 6 m 程度ではあるが、生長もよく、稚樹も多く発生しており、周囲には広葉樹も植生している。				
技術開発委員会における意見								

- (注) 1 「課題」欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入すること。  
 2 「特定区域内外」欄には、技術開発課題の実施箇所について、特定区域内は「○」、特定区域外は「●」、特定区域内外両方は、「◎」のいずれかを記入すること。  
 3 「技術開発目標」欄には、「九州森林管理局における技術開発目標(九州森林管理局長通達)」の 1~5 のうち、該当する目標の番号を記入すること。  
 4 「技術開発委員会における意見」欄には、技術開発委員会における意見を記入すること。

平成 16 年

# 技術開発実施報告・計画

森林技術センター  
長崎 森林管理(支)署

課 題	(7) イヌマキ人工更新法				開発期間	昭和 61 年度 ~ 平成 18 年度		
開発箇所	万助山国有林 67い1 林小班	担当部署	森林整備課	共同研究 機 関	技術開発 目 標	(3)	特定区域 内 外	●
開発目的 (数値目標)	皆伐天然下種更新地において、イヌマキを植栽し天然有用広葉樹導入と組み合わせ、用材林としての育成方法を確立する。							
年度別実施報告		16 年度 実施報告			17 年度 実施計画書			
		実施内容		普及指導		イヌマキ生長量調査		
試験地設定 (昭和 61 年度 3 月) 場所 万助山国有林 67い1 林小班 面積 0.10ha 本数 200本  調査事項 活着調査 (昭和 62 年度) 成長量調査 (昭和 61 年度、平成 6 ~ 14 年度) 林分構成状況調査 (平成 6 年度 ~ 平成 11 年度) 有用広葉樹生長量調査 (平成 6 年度 ~ 11 年度)  保育作業 坪刈実施 (昭和 62 ~ 平成 5 年度) ぼう芽整理 (昭和 62 年度)  有用広葉樹本数整理 除伐 (平成 9 年度、平成 14 年度)		イヌマキ生長量調査						
技術開発委員会における意見								

- (注) 1 「課題」欄には、技術開発課題名の他に番号を付して記入すること。  
 2 「特定区域内外」欄には、技術開発課題の実施箇所について、特定区域内は「○」、特定区域外は「●」、特定区域内外両方は、「◎」のいずれかを記入すること。  
 3 「技術開発目標」欄には、「九州森林管理局における技術開発目標(九州森林管理局長通達)」の 1 ~ 5 のうち、該当する目標の番号を記入すること。  
 4 「技術開発委員会における意見」欄には、技術開発委員会における意見を記入すること。



イヌマキ試験地  
生長量調査

1列	根元径	樹高	備考
1	10.1	620	
2	—	—	枯損
3	8.6	690	
4	7.8	600	
5	5.7	490	
6	11.2	620	
7	6.8	530	
8	7.2	490	
9	6.3	450	
10	7.1	490	
11	9.4	520	
12	6.3	510	
13	11.8	730	
計	98.3	6,740	
調査本数	12		
平均	8.2	562	

イヌマキ試験地  
生長量調査

2列	根元径	樹高	備考
1	9.2	680	
2	9.1	520	
3	9.3	550	
4	8.3	590	
5	10.2	680	
6	11.5	590	
7	9.4	630	
8	7.3	430	
9	9.3	610	
10	9.1	540	
11	8.2	540	
12	11.2	650	
13	12.1	620	
計	124.2	7,630	
調査本数	13		
平均	9.6	587	

イヌマキ試験地  
生長量調査

3列	根元径	樹高	備考
1	—	—	枯損
2	10.5	650	
3	9.3	690	
4	9.5	680	
5	8.6	620	
6	3.2	210	
7	10.5	650	
8	9.3	570	
9	9.7	540	
10	11.5	560	
11	6.4	430	
12	7.5	450	
13	13.8	630	
計	109.8	6,680	
調査本数	12		
平均	9.2	557	

イヌマキ試験地  
生長量調査

4列	根元径	樹高	備考
1	9.9	620	
2	10.5	640	
3	9.9	620	
4	10.1	520	
5	12.9	730	
6	10.1	720	
7	9.1	480	
8	10.3	720	
9	15.2	710	
10	12.1	660	
11	—	—	枯損
12	11.6	720	
13	6.7	510	
計	128.4	7,650	
調査本数	12		
平均	10.7	638	

イヌマキ試験地  
生長量調査

5列	根元径	樹高	備考
1	12.6	670	
2	—	—	枯損
3	—	—	枯損
4	9.9	650	
5	10.8	660	
6	—	—	枯損
7	7.5	580	
8	10.4	710	
9	12.4	640	
10	11.1	740	
11	10.2	580	
12	12.9	660	
13	11.6	590	
計	109.4	6,480	
調査本数	10		
平均	10.9	648	

イヌマキ試験地  
生長量調査

6列	根元径	樹高	備考
1	12.8	720	
2	10.4	640	
3	12.8	760	
4	—	—	枯損
5	10.4	570	
6	11.7	640	
7	7.3	550	
8	6.3	440	
9	9.8	550	
10	9.5	630	
11	13.1	710	
12	—	—	枯損
13	6.3	510	
計	110.4	6,720	
調査本数	11		
平均	10.0	611	